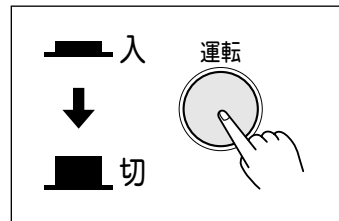
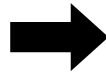
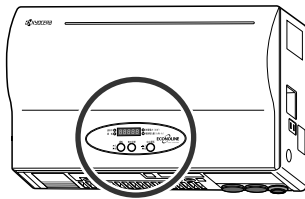


停電時の使い方(自立運転)

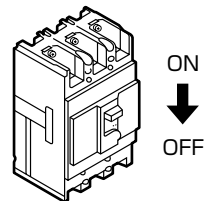
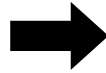
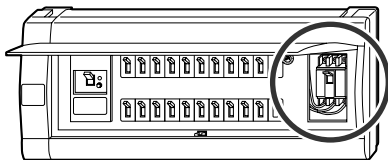
停電の時でも日照があればパワーコンディショナを運転させ、発電した電力を自立運転出力(専用コンセント、自立運転出力端子台)に供給(AC100V、最大1500W[出力合計])します。ただし、日照条件により発電量が少ない場合は1500Wまで使用できないことがあります。

連系運転から自立運転に切り替える

1 運転スイッチを『切』にする

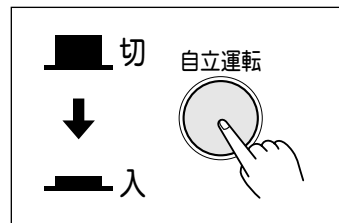
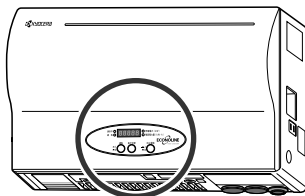


2 外部のサービスブレーカを『OFF』にする



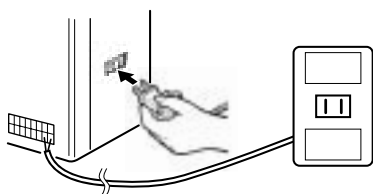
※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 自立運転スイッチを『入』にする



●連系運転から自立運転に切り替えたとき、数秒～1分程度たった後に発電を開始します。その間、表示部は“---”を点滅表示し、自立運転待機中であることを示します。

4 使用する電気製品を自立運転出力用コンセントに接続する



自立運転出力(パワーコンディショナ側面の専用コンセントおよび、自立運転出力端子台に接続された専用コンセント[別途設置工事を行った場合])に家庭内の電気製品の電源プラグを直接差しこんでください。

注：出荷時パワーコンディショナは電源周波数60Hz設定となっています。50Hzで出力する場合は、一度50Hzの系統へ連系させると50Hz設定に切り替わります

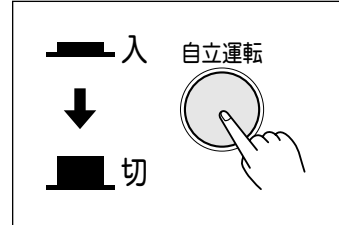
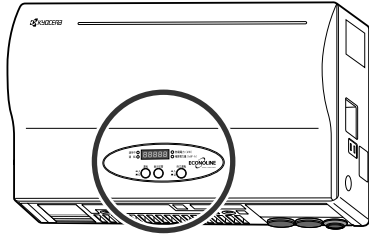
- 負荷によって使用できないものがあります。
- 自立運転時の出力電流は合計で最大15Aです。出力できる電流は日射などによりかわります。
- 太陽の日射が弱いときに自立運転を行うと、電力供給の『オン/オフ』を繰り返すことがあります。これは接続した電気製品に供給するだけの発電電力が不足しているためであり、故障ではありませんが、電気製品の故障の原因となるため、使用を止めてください。

ご注意： 運転スイッチと自立運転スイッチを両方『入』にしたときは停止状態となり、表示部は“OFF”を表示し、運転ランプが点滅します。

復電時の操作

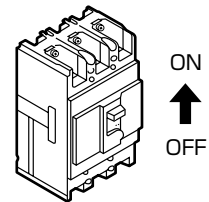
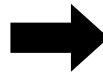
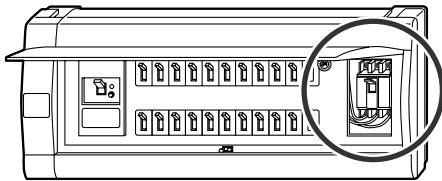
自立運転から連系運転にもどす

1 自立運転スイッチを『切』にする



- 自立運転スイッチを『切』にすると、表示部に“E”が表示されます。

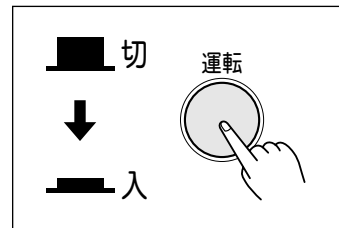
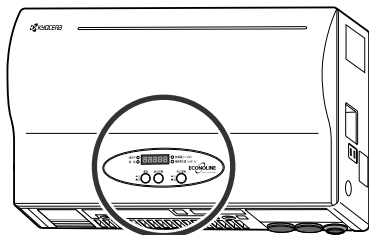
2 外部のサービスブレーカを『ON』にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

- 外部のサービスブレーカを『ON』にしてから2.5～5分間は発電を開始しませんが異常ではありません。その間、表示部は“運転開始までの残り時間(秒)”を表示します。

3 運転スイッチを『入』にする



運転ランプが点灯し数分後、連系中ランプが点灯して、発電を開始します。